

## イタリア通信 ~8月~

### イタリア首相辞任、総選挙

Genovaでは夏になるとブーゲンビリアの花が咲き乱れて、南国気分を味わえます。

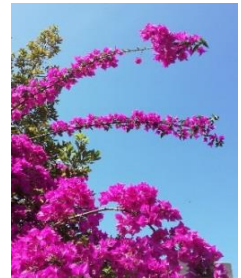
そして少し暑さが和らいで、ようやく恵みの雨が・・・と思っていたところ、今度は各地で土砂崩れが発生し、甚大な被害をもたらしました。

そんな中、ドラギ首相が辞任し9月末に総選挙となりました。連立政権の指示が得られなかったため、首相は辞任を余儀なくされました。ドラギ首相はコロナ対策と経済復興の両立が急務となるなか外部より選出され、首相就任前は欧州中央銀行の総裁も務めており国際的な知名度が高く信頼も厚かったため、このような結末になるとは予測していませんでした。欧州で連携していた対ロシア政策も振り出しに戻ってしまい欧州にとっても打撃、そして親ロシア派の政党をロシアが後押しする(?)という懸念もあるようで、欧州各首脳もイタリア政治の行方を注視しているのではないのでしょうか。

イタリアでは政権立て直しの際政治家では問題解決できない場合、外部より救済者が選ばれることが多いのですが、イタリア統一を果たしたガリバルディも同様でした。

イタリアでは英雄として、どこの街にも彼の銅像がそびえています。

そしてGenovaの海岸沿いには、ガリバルディが1000名の義勇兵を引き連れて、イタリア統一のため南イタリアへ向け出発した地点に、モニュメントがあります。その少し先、夜遅くまで若者が集うカフェがあるのですが、その真下、メタルのプレートにはその1000名の名前が刻まれています。いつも思うのですがイタリアでは名前が非常に少ないため、同じ名前がたくさん連なっていました・・・オフィスでもどこでも、同じ名前の方がたくさん居て困ってしまいます。



### ナポリのお菓子 Baba'

もっこりしたきのこのような形で、たっぷりのラム酒につけたお菓子ババをご存知ですか？ アクセントはうしろのバにつきます。

とっても大きくて、とても食後には食べられない大きさです。

ババの発祥はなんとポーランド。18世紀、ポーランド王の歯がなかった(?)ようで、食べやすいようにトカイワインに浸して柔らかくしたお菓子が考案されとても喜ばれたとのことで、それがババの発祥だと言われているようです。そしてその王の娘がフランスのルイ15世に嫁いだ際、そのお菓子を持参したためフランスの宮廷に伝わり、その後フランスを訪れたナポリの貴族お抱え料理人によって持ち帰られ、庶民の間にも普及し伝統的なナポリを代表するお菓子となったようです。

Genovaのお菓子屋さんではあまり見かけないのですが、夏仕様のババに出会いました。さっぱり味の冷えたババロアもどきの中に、小さいババがいくつか詰まっていました。ババはヘビーなお菓子なのでいつも敬遠していましたが、このグラスに詰まったババはあっさりしていて私好み。リビーターになっています！

